

第41回国家戦略特別区域諮問会議 松井大阪市長 提出資料

令和元年 9 月 30 日

■大阪で展開するまちづくり

- ・大阪都心部では2024年にうめきた2期開発まちびらき（一部）を予定
- ・臨海部の夢洲では国際観光拠点の形成をめざしたまちづくりを進めている
- ・2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）を契機として、夢洲のグリーンフィールドでまちづくりを展開
- ・「日本の成長をけん引する東西二極の一極として世界で存在感を発揮する都市」をめざす

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）



会場イメージ図

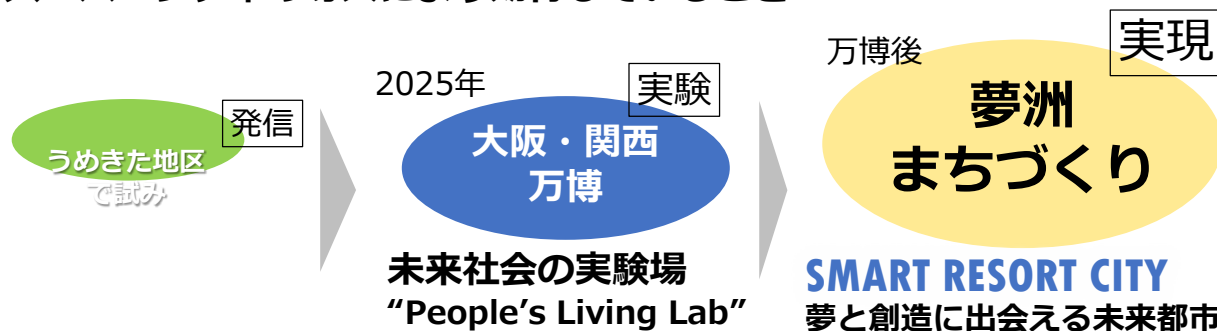
出所：経済産業省



グリーンフィールドを活かした非日常空間を形成



■スーパーシティの導入により期待していること



万博開催を契機に
スーパーシティを実現

大阪・関西の都市力の向上

- ・万博開催前に、うめきた地区で最先端技術の導入に向けた試みを発信
- ・2025年 万博で、幅広く最先端技術を経験できる場を創出
- ・万博での成果を活かし、夢洲においてスーパーシティを実現し、世界に誇る魅力ある国際観光拠点の形成をめざす

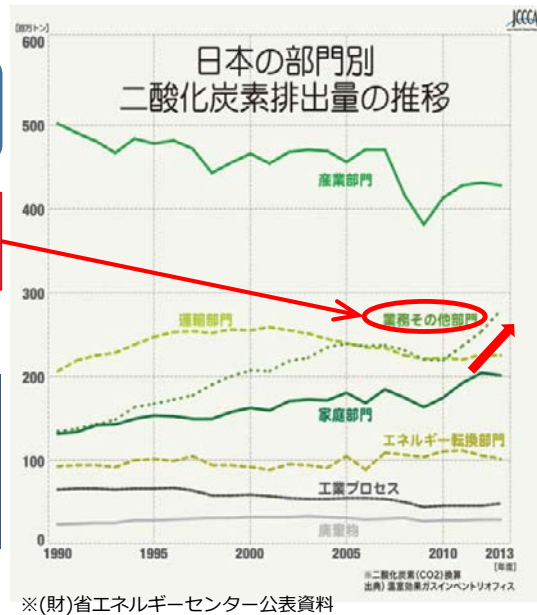
日本全国・世界への波及効果

脱炭素に向けた都市の課題

大阪・東京・名古屋等、
大都市共通の課題

オフィスビル等の
CO₂排出量が増加

オフィスビルのエネ
消費量の約3割を占
める空調分野の対策
が重要

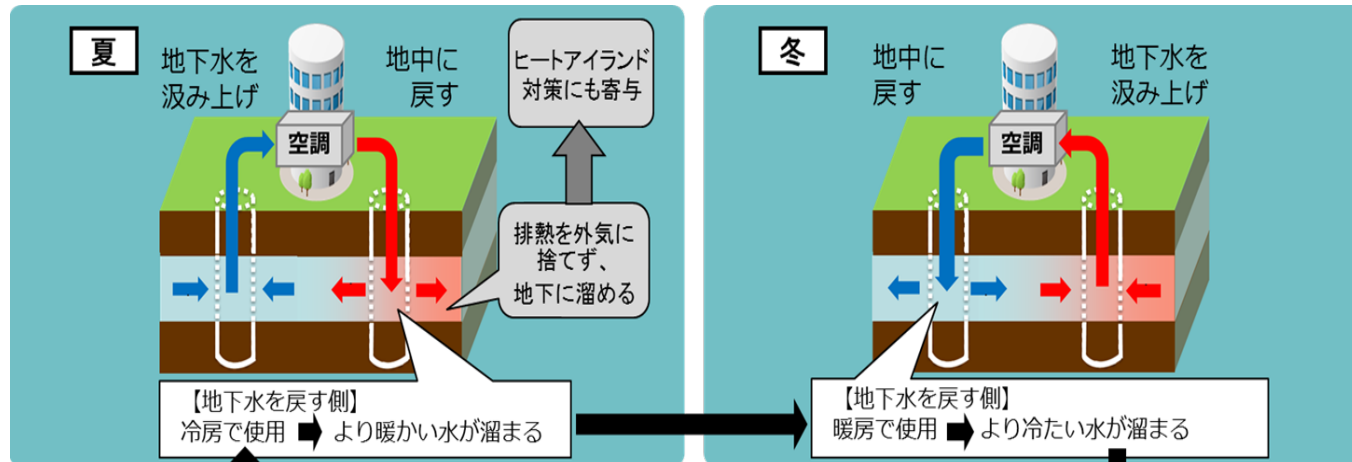


地下水の熱をビルの冷暖房に利用

従来システム比
35%の省エネルギーを実現！

CO₂排出量の削減
ヒートアイランド現象の緩和
エネルギーコストの削減
関連産業の振興

帯水層蓄熱型冷暖房事業のイメージ



- ・2本1組の熱源井戸で大容量の地下水を汲み上げ
- ・汲み上げた地下水は、同時同量で地下に還元し、地盤沈下を回避